

特長 業界初の機能で介護現場の課題を解決！

- 1 誤報のほとんどない精確な画像分析
- 2 昼夜を問わず安心介護を提供する赤外線検知
- 3 介護現場の見える化（リアルタイム画像通知）
- 4 最適な介護を支援する履歴・録画機能
- 5 プライバシーに配慮したシルエット画像



先進の検知システムで、介護の負担を軽減。

1 3次元電子マットが人とベッドの位置関係を判断



モバイル端末上で、ベッドの位置をセンサーに覚えこませる。

●ベッド上にバーチャルな3次元の電子マットを配置することで、ベッドと人の相対的な位置関係を正確に判断し、人の姿勢を把握することができます。これにより、「起き上がり」、「端座位 / 柵越え」「ずり落ち」など、対象者に合わせた動作を検知できます。



ベッド位置を決める端末上の黄色いライン

2 3Dでのセンシングで動作を判断



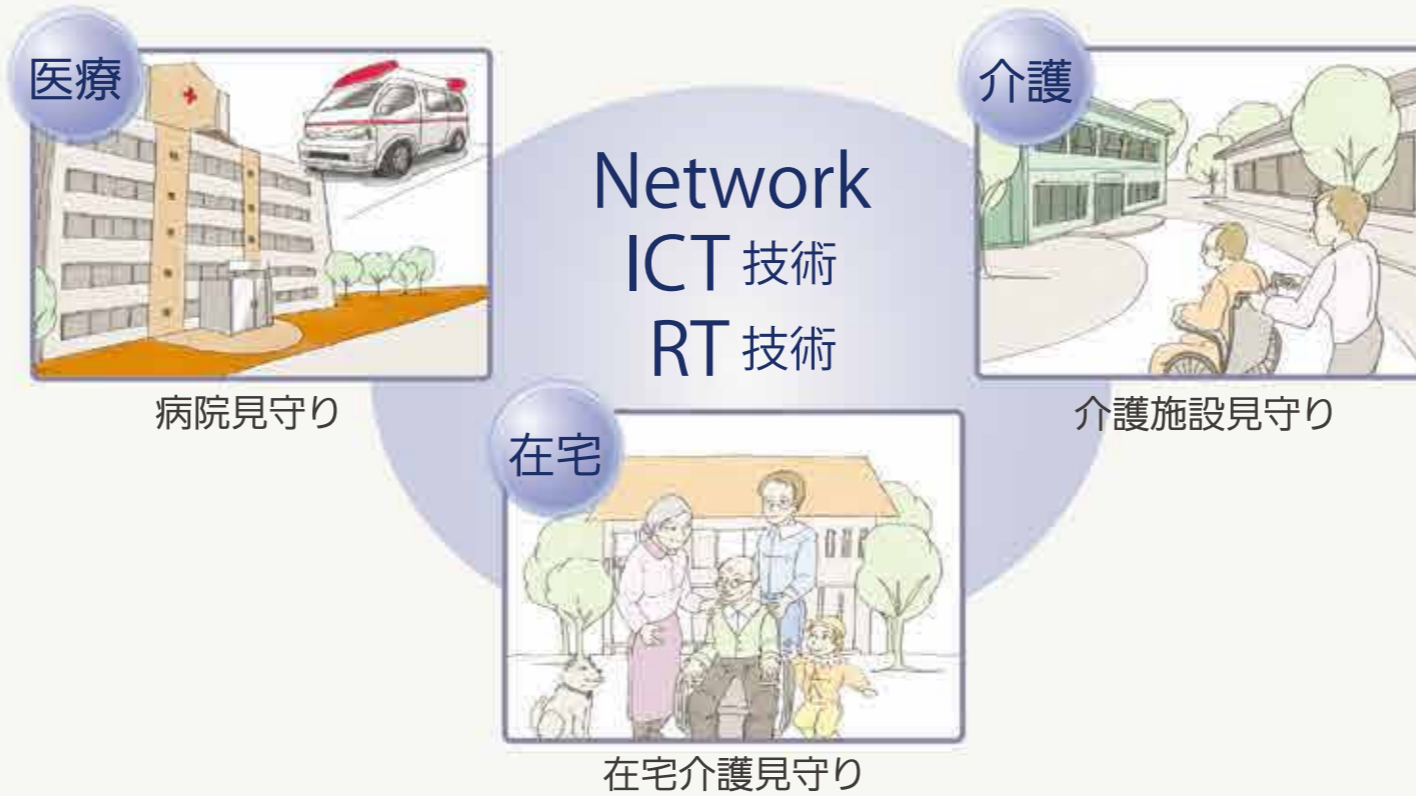
距離センサーが人物を立体的にとらえる。

●赤外線を用いた距離センサーによる3次元の立体形状の認識を行うため、人の行動を正確に判断することが可能になりました。

●映像は、人物の特定が行えないシルエット画像を採用しています。対象者のプライバシーに配慮することにより、安心な介護環境を実現します。



シルエットで表示される介護される方の動作



仕様項目	製品仕様
商品名	見守りシステム Neos+Care(ネオスケア)
センサーユニット	外形寸法/質量 全幅(W):190mm 全高(H):190mm 全奥行き(L):110mm※コードは含みません / 1.17kg 電源 15.4W以下(PoEにて給電) 適応規格 PL規格/RoHS 検知方法 赤外線距離センサーを使った非接触方式 対応OS Android5.0, 5.1 (機種により異なります)
モバイル端末	推奨スマートフォン、タブレット ASUS Zenfone2 Laser (Android 5.0)、Google Nexus7(2013年製) (Android 5.0, 5.1)
サーバー	対応OS Windows Server 2012 R2 Essentials 推奨PC CPU: 64bit, 3.4GHz以上、メモリ: 8GB以上、ストレージ空き容量 500GB以上x2(物理ディスク)※ネットワークインターフェース 1000BASE-T x 2(カメラユニットネットワーク/端末ネットワーク) スピーカー(通知音を出すため)、モニター解像度 1280x1024以上、DVDドライブ(CDが読めること) ※それぞれのディスクドライブを割り当てた構成とすること(例)物理ディスク1がCDドライブ、物理ディスク2がDVDドライブ
接続機器	センサーユニット:最大30台、モバイル端末:最大30台 但し、センサーユニットとモバイル端末の同時接続登録可能台数は合計で最大50台までとなります
外部適用環境	使用時照度環境 0ルクスの照度環境で使用可能 使用対象ベッドサイズ ベッドサイズ:横幅90~100cm 縦幅210cm以下 高さ30cm~50cm センサー設置可能高 床から2000mm~2300mm(ベッドの高さにより変動) 使用対象までの距離 ベッド横 側端から:1200mm~2100mm / ベッド頭側 側端から:1100mm~1600mm ベッド足下 側端から:800mm~1600mm 使用時温湿度環境 室内(周囲)温度:5~40℃ / 室内(周囲)湿度:10~80%(結露なきこと) モバイル端末がWi-Fi接続可能であること/インターネット接続が可能であること
ネットワーク環境	モバイル端末がWi-Fi接続可能であること/インターネット接続が可能であること

Microsoft, Windowsは米国Microsoft Corporationの米国、およびその他の国における登録商標です。 Google, Android, Nexus7はGoogle inc.の商標又は登録商標です。 ASUS, ZenfoneはASUSの商標です。 Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。

< お問い合わせ先 >

ノーリツプレジジョン株式会社

■本社
〒640-8550 和歌山県和歌山市梅原 579-1
TEL. 073-456-3966
FAX. 073-454-0420

■WEBサイト
<http://www.noritsu-precision.com>



次世代予測型見守りシステム Neos+Care ネオスケア



Stage

今を見守るステージ

転倒、転落をさせないように見守る
毎日が安心

Stage

これからを見守るステージ

生活動作の低下防止を見守ることで社会参加を実現
いつまでも笑顔

Voice 喜びの声

Neos+Care を先行導入された介護施設さまからの喜びの声



●介護される方とのコミュニケーションが改善

Neos + Care で居室内の様子を見てお声掛けできることで、以前のように嫌がられることが無くなった。(就寝中等)

●映像で確認できて安心

認知症の方で行動の予測が困難だったので、通知が無い時でも気になった時に居室の様子を確認できて安心だった。

●通知が早くなった

床マットと比べて、通知が早くその場で映像確認できるのが良い

●日常生活動作 (ADL) を把握できる

検知履歴と録画された映像から、日常生活動作を把握できることにより、生活動作レベルや睡眠状態がわかる



ロボットと人の目による思いやりのある見守り

1 動作を検知できる

●危険な予兆動作を検知できる。



2 通知を受けて画像確認できる

●通知を受けると簡単操作で介護される方の様子をシルエット画像で確認できる。



3 人の目でも確認できる

●リアルタイム映像により訪室、巡回のコントロールが可能になる。



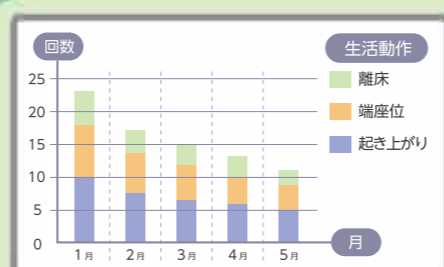
4 履歴が残る

●蓄積したデータにより ADL (日常生活動作) のチェック、事故原因の特定ができる。



履歴データの活用による精度の高い見守り

生活動作の履歴により、生活不活発病の早期発見につながります。



- ADL 情報を活用することで生活動作レベルをチェックできるようになります。(介護される方の目標とするレベルとの差異を確認)
- 夜間の検知回数を元に就寝時の睡眠状態を把握することができます。
- 生活動作情報から最適なケアプランの作成を支援できます。

(大川弥生 医学博士監修)



●高齢な健常者の生活動作の見守りにも役立ちます。※1

- ・居室内や共用スペースでの異常発生を検知できます。※1 (転倒、体調不良によるうずくまり、横たわり)
- ・自立生活における危険予兆を把握できます。※1 (介助が必要な最適なタイミングを把握できます)

●介護する方の意識を向上させます。

- ・映像を随時閲覧できることから、介護する方の介護スキルを管理者は把握することが可能になります。
- ・介護の見える化により、家族に安心を提供できます。
- ・介護する方を教育する事が出来ます。
- ・最適な介護プランを作成する事が出来ます。



●ICT 技術を活用した遠隔統合管理を実現できます。※2

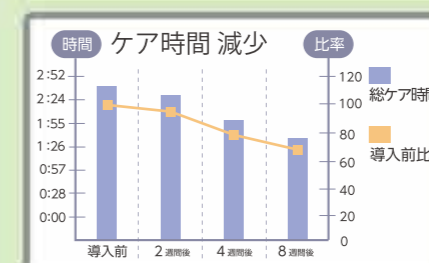
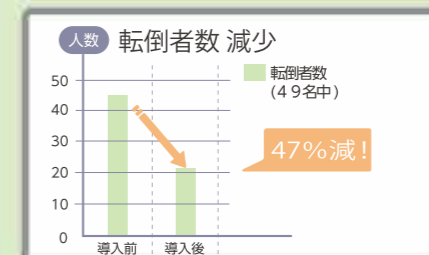
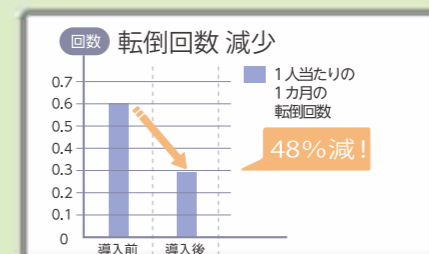
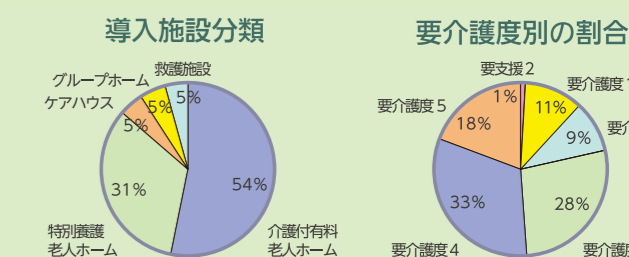
- ・夜間の見守りを集中管理することで経費削減ができます。(各施設での見守り人員の削減)
- ・全施設でのサービス均一化を実現できます。



実証試験結果 データが示す Neos+Care の効果

実施概要

項目	内容	備考
試験期間	2014年10月～2015年1月	期間中の最大3カ月
施設数	2施設	1施設 平均5台
対象者数	106名	期間中の最大3カ月



●危険動作の早い段階での検知と居室内の危険因子 (車椅子位置等) の早期発見ができます。

- ・転倒回数が4.8パーセント低減しました。10施設、4.9名(要介護度4、5かつ認知症ありの方中心)を対象に Neos + Care 導入前後の転倒回数を調査したところ、転倒の回数が半分に減りました。

また導入前1年間で9割以上の方が転倒されていましたが、4カ月の調査期間中、2.8名の方が1度も転倒されませんでした。

(H26年度ロボット介護器導入実証事業調べ)

●ロボットの目 (高い検知精度) と人の目 (映像による確認) による二重チェック効果が生まれます。

- ・ケア時間減少に効果がありました。Neos + Care 導入前に比べて業務負荷の大幅な減少が確認されています。導入後4週間で2割減少(約30分減少/日)し、導入後8週間で3割減少(約60分減少/日)しています。

(H26年度ロボット介護器導入実証事業調べ)